

南海フェリー株式会社 船員を目指そう！フェリーあい体験航海②
大海原で船乗りの仕事を学ぶ

6 月 12 日、和歌山県和歌山市で体験乗船を通じて海や船に親しんでもらおうと、南海フェリー株式会社の「フェリーあい」を利用して「船員を目指そう！フェリーあい体験航海」を開催し、和歌山県白浜町の白浜町立白浜中学校の 3 年生 29 人、白浜町立白浜第一小学校の 6 年生 25 人と白浜町立白浜第二小学校の 6 年生 13 人、和歌山市立有功東小学校の 6 年生 49 人が参加した。この体験乗船は、本組合の大阪支部が企画し、白浜町教育委員会、和歌山市教育委員会、近畿運輸局、公益社団法人近畿海事広報協会、近畿旅客船協会、南海フェリー株式会社の全面協力のもと、関西地方支部管内執行部と職場委員が中心となり実施した。

操舵室見学

乗組員からレーダーや船内指令装置などの説明を受けたほか、双眼鏡を手に取り、遠くの船や景色を眺めた。

クイズ大会

海や船に関する問題が出され、生徒は班の仲間と真剣に考え、問題に答えていた。

すべての体験学習を終えた後の入港準備では、和歌山市立有功東小学校の佃真理愛さんが生徒を代表し、子ども船長として操舵室で船長業務を手伝った。

フェリーが和歌山港に着桟した後、クイズ大会の結果発表が行われ、見事に全問正解した班が優勝し、残る 3 班が同点となり、最後はジャンケン大会で順位を決めるなど、大いに盛り上がった。

イベント後は船内で昼食を取り、下船してから、お世話になった感謝を込め「フェリーあい」の出港を全員で手を振って見送った。

閉会式では、山崎秀和関西地方支部長が「今回の体験乗船を通じて、今後みなさんが進路を決める際、船員職業を一つの選択肢にしていいただきたい」とあいさつした後、白浜町立白浜中学校の池田健心さんと和歌山市立有功東小学校の小林和歌校長からお礼の言葉が述べられ、最後に生徒全員に記念品が手渡された。

「海員だより」